第2回審議会資料に対する質問事項について(回答)

表 1 第 2 回審議会での質問事項と回答

第1回審議会 質問事項	回 答(事務局)
(1)減価償却費について	
将来の減価償却費は、過年度と比較して増加するのか減少するのか?	事業開始から現在に至るまで下水道施設の新規整備を継続しているため、減価償却費は上昇傾向にあります。新規汚水管整備の完了は2025年度(平成37年度)を予定しており、その後は減価償却費の上昇は緩やかになります。そして2032年度(平成44年度)には減価償却費が減少に転じると予測しています。 なお、2010年度(平成22年度)から2013年度(平成25年度)の減価償却費が極端に低くなっているのは、みなし償却(次ページ参照)を行っていたことによります。
	1,700 (百万円) 減価償却費の推移 ※みなし償却 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

